

## 企業のライフサイクルと政府系金融機関

氏 名 伊藤 修二

指導教員 武田 寛

本研究の目的は、政府系金融機関が民間金融機関や民間企業と連携し、企業の発展に向けた金融支援を最適に実行していくための方策を探ることである。

企業のライフサイクルに応じて、金融機関が行っている金融サービスを分析した結果、創業期と衰退期の金融サービスや、成熟期から衰退期における企業の第二創業に関わる金融サービスがあまり行き届いていないことがわかった。

政府系金融機関は民業補完を目的としていることから、民間金融機関のサービスが行き届いている成長期や成熟期の企業に対して、政府系金融機関が過剰な金融サービスを提供することは民業圧迫となり、市場における民間金融機関の適切な競争を阻害する要因になる。

このため、政府系金融機関による新たな金融サービスは、サービスの行き届いていない領域に重点を置くべきであると考えられる。具体的には、

- (1) 創業期の企業への融資および出資業務
- (2) 成熟期から衰退期にある企業への第二創業支援
- (3) 農業分野での協調支援

である。

これにより、新たな起業が増加し、既存企業の新陳代謝が活発化することで、開廃業率の改善に寄与するものと思われる。

また AI の活用について、日本公庫の主な業務である融資審査における AI スコア・レンディングの導入は容易ではないと思われるものの、AI 導入による電話対応や窓口相談などのルーチン業務の自動化は進めるべきである。自動化により生まれる労働力は、上述した日本公庫に求められる新たな金融サービスを担うことができる。